

末永く快適に住むために、  
構造の事、性能の事も知ってもらいたい

3/11(土)~19(日) am10:00~pm4:00

岡山市北区建部町鶴田

※構造見学会の詳細地図は、ご予約いただいた方にのみご案内いたします

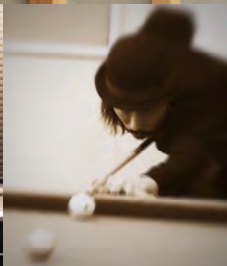
●予約締切/見学希望日の2日前までにmailもしくはお電話にてご予約下さい

完全  
予約制

## 『Pool Bar F』

共通の趣味であるビリヤードを通して知り合った設計士とお施主様。  
自宅にビリヤード台を置く設計士の家に行ったところから、  
『Pool Bar F』の計画が始まりました。  
山小屋風のシンプルな外観を彩るのは鮮やかなブルー屋根。  
短辺5m以上の岡山県産材の土台と柱を使用した大空間は、  
しなやかで強靱な船舶用ロープや船舶用金物のクリープを用いた特殊な小屋組。  
普段の住宅ではなかなか見ることの出来ない構造となっており、  
一見の価値有り。  
写真でチラ見しているのはお施主様が所有する90年代のジャガーXJ-S後期型。  
こちらも見の価値有りです。  
なお構造見学会の為、ビリヤード台は設置しておりませんので  
ご了承ください。

# 構造 見学会



※この構造見学会は、平成28年度「県産材を使った快適木の家づくりサプライチェーンの活動支援事業」(岡山県補助事業)を活用しています。

一級建築士事務所 **飛夢屋**  
CREATIVE OFFICE TOMBO  
株式会社 **北屋建設**

FREEDIAL: 0120-76-9523  
岡山市中区平井7丁目18-15-11 〒703-8282  
TEL:086-276-3735 FAX:086-276-3783  
URL <http://www.tombo-kitaya.co.jp/>  
e-mail [info@tombo-kitaya.co.jp](mailto:info@tombo-kitaya.co.jp)

私たちは、品質・性能に優れた県産材を使った家づくりを通じて、  
岡山県産材の利用促進に取り組んでいます。

日本の人工林の多くは、戦後荒廃した森林の復旧のため、また、住宅の建築用材として通直で成長が比較的早いスギやヒノキが積極的に植えられました。しかし、利用可能な時期を迎えた現在、外材の利用や住宅等の非木造化が進み、国産材の利用が進まないという状況となっています。

これらの結果、新しい木が植えられなかったり、間伐が進まないことなどから土砂崩れの原因となったり、CO2の吸収能力が低下したり、病虫害が発生しやすい原因となっています。木材は、伐採して、再び植林して育てることで再生することができる資源です。「伐って、使って、植えて、育てる」。このサイクルを続ければ、枯渇することのない無限の資源といえます。

このサイクルを担う林業は、適切な生産活動を通じて森林整備や再造林を行うことにより、水源の涵養機能や土砂の流出防止機能等森林の有する多面的機能の発揮に貢献しています。

人工林を中心に増加する森林資源を有効に活用しつつ、林業の健全な発展と県内の森林整備のための収益の還元を進めて行くためには、県産材の需要拡大が不可欠となっています。



岡山県は平成24年から4年連続ヒノキ素材生産量 日本一

○(一社) 岡山県木材組合連合会

○県産材を使った家づくりに取り組んでいるグループ『ご機嫌な住まい』

構成員：(株)北屋建設、さんもく工業(株)、山下木材(株)、真庭木材市売(株)

